



小野小学校 学校だより

第 5 号

わげんあいご  
**和顔愛語**

令和3年 5月26日

## 爽やかな五月晴れの下、頑張った運動会！

今年もコロナ禍で様々な制約のある中、保護者の皆さんにご理解とご協力をいただき、五月晴れの下で運動会をやり遂げることができました。2年続けての半日開催でしたが、昨年よりも充実が図れたのではないかと思います。たくさんのご来場とご協力、そして、ご声援ありがとうございました。（保護者 Web アンケートへの協力も、ありがとうございます。）

子どもたちは、いろいろな制限や不自由さはありませんでしたが、精一杯の姿を見せてくれました。短い練習期間、早い梅雨入りで練習不足の感はありましたが、保護者の皆様方に、子どもたちの練習の成果、職員の指導の足跡を見ていただくことができたこと、現時点での「**小野小学校の精一杯のできたしこ！**」を披露できたことをうれしく思っています。また、絞り込んだ人数ではありましたが、地域来賓の皆様をお招きできたこともよかったです。やはり、応援の力、お客様方の注目が、子どもたちにとっては大きな力添えになりました。



## 職員の交代があります！ お世話になりました。



急な人事異動の発令がなされ、職員の交代があります。かねてから教頭候補として登録されていた、**5年1組担任の 安居院親孝** 教諭が、教頭として市内の上諫早小学校に転出されることとなりました。年度途中の昇任ということで、戸惑いは否めませんが、ご栄転です。

急なことで、本人も学校も対応に苦勞することは否めませんが、一番残念な気持ちなのは5年1組の子どもたちだと思います。今後、学校全体で見守っていくのはもちろんですが、しっかり代わりを務めてもらえる方を探していただき、着任が決定しました。この3月まで市内小学校で校長として勤務されていた**吉田正勝** 先生です。経験も豊富な先生ですので、頑張っていただけだと思います。

## 6月3日（木）は、臨時集団下校の訓練！

## 下校手段の事前集約も訓練です！ ご協力ください。

文書でお知らせしましたが、今回の大雨浸水についての臨時集団下校の訓練は、昨年実際にあったような、市からの指示で早く下校させなければならないことを想定したものです。電話での確認件数を減らすために、グーグルフォーム（Web 回答）を利用した下校方法の集約も行います。文書やスクールネットメールに従って、事前集約にご協力ください。



※ 裏面もご覧ください。



【校長の独り言・・・・・・・・】

## 「足元を掘れ そこに泉が湧く」！

五島列島 久賀島で学んだこと・・・。

平成初期、五島列島久賀島の小学校に勤務しました。福江島の隣にある二次離島で、病院もなく、お店も少なく、生活するには不便な所ではありました。しかし、その島でたくさんの方を経験し、島民の皆さんの温かさを感じた4年間でした。

久賀島の皆さんの考え方に、「生活は自給自足。現金収入は子どもの教育費に。」というものがあり、たくさんの方からその話を聴きました。そういう考え方が根底にある島だったからでしょうか、「偉人」と呼ばれる方もその島から生まれました。



まずは、藤原九十郎 (ふじわらくじゅうろう) 医学博士。博士は、明治26年(1894)、久賀村に生まれました。明治44年に五島中学校を卒業した後、長崎医学専門学校(現在の長崎大学医学部)で学び、大正4年(1916)に卒業しました。大正6年、京都大学病院の医者になり、大正10年には早くも医学博士になりました。九十郎博士は、特に公害の研究に取り組み、煙の害の研究や水のごとの研究、騒音の研究に力を入れ、日本の公害研究のパイオニアとして有名になりました。その後、九十郎博士は大学病院をやめ、大阪市の人々の健康を守る保健局長となり、日本で初めて保健所をつくりました。



次に、藤原元典 (ふじわらもとのり) 医学博士。博士は、大正4年、九十郎博士の長男として五島で生まれました。昭和11年、大阪の高校から京都大学医学部に進み、昭和34年には京都大学医学部教授となりました。昭和54年にやめるまで薬の研究をし、特に日本人に多かった脚気(かっけ)を防ぐために必要なビタミンB1の研究で成果を上げ、世界的に認められました。中でも「アリチアミン」という栄養物質の発見は世紀の大発見で、今でも健康薬「アリナミンA」として発売されています。大学の名誉教授をやめてからの7年間は、京都府公害研究所長となり、公害の研究にも取り組みました。

元典博士は、アリナミン開発の特許を武田製薬に譲られ、その謝礼金を基に医学研究を援助する藤原記念財団を設立されました。久賀島の方の冗談話に、「謝礼金は、その当時の価値で言えば、久賀島と福江島を橋で結べるようなすごい金額だったらしいぞ。」というものがありません。それを後進の研究のために寄付されたというのもすごいことですね。

久賀小学校の校長室には、藤原九十郎博士直筆の書が飾られていました。その書には、「足元を掘れ そこに泉が湧く」と書かれていました。この言葉はニーチェの「足元を掘れ そこに泉あり」が元なのかもしれませんが、深く考えさせられる言葉です。私が考えた意味の一つは、「温故知新」の意味。 もう一つは、「今の自分を受け止めて、全力を尽くせ。」というエールです。

教師生活も長くなりましたが、いろいろな地域、いろいろな学校で、たくさんの方を学ばせてもらってきました。「少しでも恩返しをしたいなあ」と思う、今日この頃です。

※裏面もご覧ください。